

実務経験のある教員による授業科目一覧：2021年度

※各授業のシラバスにも記載されています。

| 学科・専攻 | 担当教員名 | 授業科目名 | 科目区分 | 履修学年 | 単位数 | 授業内容（どのような経験を持ち、どのような授業を行うか） |
|----------------------|-------|--------------|------|------|-----|--|
| 生活科学学科 生活情報デザイン専攻 | 中里弘穂 | 社会人基礎演習Ⅰ | 教養 | 1回生 | 1 | 本教員はキャリアコンサルタントとして若者の就職支援、企業団体従業員の教育・キャリア形成支援を担当してきた。その経験を活かし社会で働くうえで必要となること、社会人として仕事を継続する上で求められる仕事の進め方やビジネスマナーを理解させ、併せて職業人としてのキャリア形成を考える授業を行っている。 |
| 生活科学学科 生活情報デザイン専攻 | 吉村正照 | Web制作演習 | 専門 | 1回生 | 2 | 20年近いウェブデザイナーとしての実務経験を活かし、実際にプロの現場で利用されているツールを使って演習を行う。 |
| 生活科学学科 生活情報デザイン専攻 | 宮沢好美 | コミュニケーション演習Ⅰ | 専門 | 1回生 | 1 | バックグラウンドは心理学で、臨床心理学、産業組織心理学(職場のメンタルヘルス)が専門です。病院臨床をはじめ民間企業や陸上自衛隊などで職場のメンタルヘルス向上に携わり、コミュニケーション研修なども実施。その経験を活かし、コミュニケーションにおける基本的な知識やスキルを学び、実践を通してコミュニケーションとは何かについて体系的に考える講義を行う。 |
| 生活科学学科 生活情報デザイン専攻 | 森川徹志 | コミュニケーション演習Ⅱ | 専門 | 1回生 | 1 | 雑誌・大学案内・ニュースサイト等での編集・執筆実績を持つ教員が、その経験を生かし、日本語の「書き言葉」によるコミュニケーションの在り方について演習形式で展開する。 |
| 生活科学学科 生活情報デザイン専攻 | 林公一朗 | インテリアデザインⅠ | 専門 | 1回生 | 2 | 一級建築士として様々な建築物の設計・デザインに携わっているという実務経験を活かし、建築物と密接な関係性があるインテリア・デザインについて、幅広く知識や実例などを講義する。 |
| 合計単位数 | | | | | 7 | |

実務経験のある教員による授業科目一覧：2021年度

※各授業のシラバスにも記載されています。

| 学科・専攻 | 担当教員名 | 授業科目名 | 科目区分 | 履修学年 | 単位数 | 授業内容（どのような経験を持ち、どのような授業を行うか） |
|--------------------|--------|-------------|--------------|------|-----|---|
| 生活科学学科 生活デザイン専攻 | 岡田和美 | 保育学 | 専門 (学科共通) | 2回生 | 2 | 保育園における全年齢の担任経験や、保育士・主任保育士・園長等の経験及び、行政における育児相談・地域への子育て支援事業の発信・啓蒙等の経験がある。それらの経験を活かして、子育ての楽しさ、大変さ、壁にぶつかった時の乗り越え方など、具体的な事例や演習を通して、共に考え、学び合う。 |
| 生活科学学科 生活デザイン専攻 | 吉村正照 | WebデザインⅠ | 専門 | 2回生 | 2 | 20年近いウェブデザイナーとしての実務経験を活かし、実際にプロの現場で利用されているツールを使って演習を行う。 |
| 生活科学学科 生活デザイン専攻 | 賀川泰成 | WebデザインⅡ | 専門 | 2回生 | 2 | 福井県内の中小企業の企業ブランドの構築、採用ブランドの構築を行う、株式会社グロウプスの代表。企業ブランド構築のための調査分析から企画立案、デザイン、Webサイトの構築などを手がけている教員が、Webサイトの企画構成立案や、PCサイトやスマホサイトのページデザインの講義と演習を行う。 |
| 生活科学学科 生活デザイン専攻 | 原田 聡つ子 | インテリアプランニング | 専門 | 2回生 | 2 | インテリアコーディネーターとしてインテリア業界に携わった経験を活かし、現場での実務例を挙げて解説し、実情に即した講義を行う。また、レポート発表、住宅展示場見学発表の講義では、インテリア業務の経験に基づいて、学生の質問に答えたり、助言を行ったりする。 |
| 生活科学学科 生活デザイン専攻 | 林公一朗 | インテリア設計 | 専門 | 2回生 | 2 | 一級建築士として様々な建築物の設計・デザインに携わっているという実務経験を活かし、建築物に密接な関係性があるインテリア・デザインについて、一歩踏み込んだ知識や実例などを講義する。 |
| 合計単位数 | | | | | 10 | |

実務経験のある教員による授業科目一覧：2021年度

※各授業のシラバスにも記載されています。

| 学科・専攻 | 担当教員名 | 授業科目名 | 科目区分 | 履修学年 | 単位数 | 授業内容（どのような経験を持ち、どのような授業を行うか） |
|------------------|-------|-----------|--------------|------|-----|---|
| 生活科学学科 生活情報専攻 | 南保勝 | 福井地域学 | 教養 | 2回生 | 2 | 地方銀行及びそのシンクタンクで学んだ実践的な経済学、経営学を活かして、福井地域学という領域学を確立したが、その福井地域学でまとめた地域の歴史、文化、伝統、産業、暮らしなど地方創生にも関連する必要知識を教示し、地域愛を育てる。 |
| 生活科学学科 生活情報専攻 | 岡田和美 | 保育学 | 専門 (学科共通) | 2回生 | 2 | 保育園における全年齢の担任経験や、保育士・主任保育士・園長等の経験及び、行政における育児相談・地域への子育て支援事業の発信・啓蒙等の経験がある。それらの経験を活かして、子育ての楽しさ、大変さ、壁にぶつかった時の乗り越え方など、具体的な事例や演習を通して、共に考え、学び合う。 |
| 生活科学学科 生活情報専攻 | 澤崎敏文 | ビジネス実務演習Ⅰ | 専門 | 2回生 | 1 | 企業経営の経験、商工会議所等での専門アドバイザーとしての経験を有する教員が、その経験を活かして、ビジネスにおける基本的な知識や今日的な課題について講義を行う。 |
| 生活科学学科 生活情報専攻 | 澤崎敏文 | ビジネス実務演習Ⅱ | 専門 | 2回生 | 1 | 企業経営の経験、商工会議所等での専門アドバイザーとしての経験を有する教員が、その経験を活かして、ビジネスにおける基本的な知識や今日的な課題について講義を行う。 |
| 生活科学学科 生活情報専攻 | 南保勝 | 生活商品学 | 専門 | 2回生 | 2 | 地方銀行及びその関連したシンクタンクで経済、経営学の実務を实践した教員が、その勤務経験を活かして、消費者からみた商品とは何かについて解説する。 |
| 合計単位数 | | | | | 8 | |

実務経験のある教員による授業科目一覧：2021年度

※各授業のシラバスにも記載されています。

| 学科・専攻 | 担当教員名 | 授業科目名 | 科目区分 | 履修学年 | 単位数 | 授業内容（どのような経験を持ち、どのような授業を行うか） |
|------------------|-------|-------------|--------------|------|-----|--|
| 生活科学学科 食物栄養専攻 | 中里弘穂 | 社会人基礎演習Ⅰ | 教養 | 1回生 | 1 | 本教員はキャリアコンサルタントとして若者の就職支援、企業団体従業員の教育・キャリア形成支援を担当してきた。その経験を活かし社会で働くうえで必要となること、社会人として仕事を継続する上で求められる仕事の進め方やビジネスマナーを理解させ、併せて職業人としてのキャリア形成を考える授業を行っている。 |
| 生活科学学科 食物栄養専攻 | 小林恭一 | 食品学総論 | 専門 | 1回生 | 2 | 公設試験研究機関において食品開発、食品分析、技術指導に携わった経験を持つ教員が、食品学の基礎知識に新しい知見を加え、食品の持つ栄養機能、味覚機能、健康維持機能について講義を行う。 |
| 生活科学学科 食物栄養専攻 | 小林恭一 | 食品学各論 | 専門 | 1回生 | 2 | 公設試験研究機関において食品開発、食品分析、技術指導に携わった経験を持つ教員が、個々の食品の特性や生産の実態、地域に固有な特産物の栄養機能、味覚機能、健康維持機能について、これまでの研究成果をふまえて講義を行う。 |
| 生活科学学科 食物栄養専攻 | 小林恭一 | 食品化学実験 | 専門 | 1回生 | 1 | 公設試験研究機関において食品開発、食品分析、技術指導に携わった経験を持つ教員の指導の下、食品の化学分析に必要な実践的な能力を身につけるための実験・実習を行う。 |
| 生活科学学科 食物栄養専攻 | 小林恭一 | 食品加工学 | 専門 | 1回生 | 2 | 公設試験研究機関において食品開発、食品分析、技術指導に携わった経験を持つ教員が、食品加工の目的・対象・方法に関する基本的な知識、及び加工技術について、製品の具体例を挙げながら、実情に即した講義を行う。 |
| 生活科学学科 食物栄養専攻 | 牧野みゆき | 公衆栄養学 | 専門 | 1回生 | 2 | 行政栄養士としての経験をふまえて公衆栄養に関する講義を行う。 |
| 生活科学学科 食物栄養専攻 | 木内貴子 | 栄養学実習 | 専門 | 1回生 | 1 | 病院の管理栄養士業務を携わった経験のある教員が、各ライフステージにおける栄養的特徴について解説し、実践的な栄養管理能力を身に付けるための実習を行います。 |
| 生活科学学科 食物栄養専攻 | 木内貴子 | 給食管理 | 専門 | 1回生 | 2 | 病院の管理栄養士業務を携わった経験のある教員が、給食業務を行うために必要な食事計画や食事サービスについて具体例を挙げながら、基本的知識を講義します。 |
| 生活科学学科 食物栄養専攻 | 岡田和美 | 保育学 | 専門 (学科共通) | 2回生 | 2 | 保育園における全年齢の担任経験や、保育士・主任保育士・園長等の経験及び、行政における育児相談・地域への子育て支援事業の発信・啓蒙等の経験がある。それらの経験を活かして、子育ての楽しさ、大変さ、壁にぶつかった時の乗り越え方など、具体的な事例や演習を通して、共に考え、学び合う。 |
| 生活科学学科 食物栄養専攻 | 小林恭一 | 食品加工実習 | 専門 | 2回生 | 1 | 公設試験研究機関において食品開発、食品分析、技術指導に携わった経験を持つ教員の指導の下、食品加工に必要な実践的な能力を身につけるための実習を行う。 |
| 生活科学学科 食物栄養専攻 | 小林恭一 | フードスペシャリスト論 | 専門 | 2回生 | 2 | 公設試験研究機関において食品開発、食品分析、技術指導に携わった経験を持つ教員が、食の専門職の現状、フードスペシャリストの具体的な業務、食品産業の動向、関連法規等、身につけなければならない知識について実践的な講義を行う。 |
| 生活科学学科 食物栄養専攻 | 牧野みゆき | 栄養指導論Ⅱ | 専門 | 2回生 | 2 | 行政栄養士としての栄養指導経験をもとに、栄養教育・指導の実際について講義する。 |

実務経験のある教員による授業科目一覧：2021年度

※各授業のシラバスにも記載されています。

| 学科・専攻 | 担当教員名 | 授業科目名 | 科目区分 | 履修学年 | 単位数 | 授業内容（どのような経験を持ち、どのような授業を行うか） |
|------------------|-------|----------|------|------|-----|---|
| 生活科学学科 食物栄養専攻 | 牧野みゆき | 栄養指導実習 | 専門 | 2回生 | 1 | 行政栄養士としての経験をふまえて、栄養指導の実際について実習を行う。 |
| 生活科学学科 食物栄養専攻 | 牧野みゆき | 給食管理実習 | 専門 | 2回生 | 2 | 管理栄養士として給食施設指導に携わった経験をもとに、給食管理について実習を行う |
| 生活科学学科 食物栄養専攻 | 牧野みゆき | 給食管理臨地実習 | 専門 | 2回生 | 2 | 行政栄養士として給食施設指導業務を行った経験をふまえた授業を行う。 |
| 生活科学学科 食物栄養専攻 | 牧野みゆき | 栄養情報処理 | 専門 | 2回生 | 1 | 行政栄養士として栄養統計処理等の経験を有するため、この経験をふまえて演習を行う。 |
| 生活科学学科 食物栄養専攻 | 木内貴子 | 臨床栄養学実習 | 専門 | 2回生 | 1 | 病院の管理栄養士業務に携わった経験のある管理栄養士のもと、各種疾患における栄養療法の意義をふまえ、基本献立から各種治療食への展開など、実践的な実習を行います。 |
| 生活科学学科 食物栄養専攻 | 木下充子 | 臨床栄養学 | 専門 | 2回生 | 2 | 病院の管理栄養士業務に携わった経験を活かし、疾患別の栄養・食事療法について例を挙げながら講義する。 |
| 生活科学学科 食物栄養専攻 | 木下充子 | 臨床栄養学各論 | 専門 | 2回生 | 2 | 病院の管理栄養士業務に携わった経験を活かし、栄養ケア・マネジメントについて例を挙げ講義する。 |
| 生活科学学科 食物栄養専攻 | 近藤俊英 | 社会福祉 | 専門 | 2回生 | 2 | 高齢、障害、児童（スクールソーシャルワーカー）、司法の各福祉分野での実践経験を持ち、かつ現役の専門職後見人として高齢・障害の福祉サービスの受け手側の視点を持つ教員が、各福祉分野の実情踏まえつつ、実践現場の話を交えながら講義を行う。 |
| 合計単位数 | | | | | 33 | |

実務経験のある教員による授業科目一覧：2021年度

※各授業のシラバスにも記載されています。

| 学科・専攻 | 担当教員名 | 授業科目名 | 科目区分 | 履修学年 | 単位数 | 授業内容（どのような経験を持ち、どのような授業を行うか） |
|--------|----------------|---------------|------|------|-----|---|
| 幼児教育学科 | 小川智枝・賞雅 さや子 | 子ども家庭福祉 | 専門 | 1回生 | 2 | 保育士として保育、家庭支援に携わった経験を活かし、子ども家庭福祉の理念を具体化する保育実践について事例を挙げながら講義する。 |
| 幼児教育学科 | 小川智枝 | 子ども家庭支援論 | 専門 | 1回生 | 2 | 保育士として保育、家庭支援に携わった経験に基づき、保育の専門性を活かした子ども家庭支援について事例を挙げながら講義する。 |
| 幼児教育学科 | 松川恵子 | 教育課程総論 | 専門 | 1回生 | 2 | 保育者としての実務経験を活かし、「計画(P)－実践(D)－評価(C)－改善(A)」の過程、教育課程（全体的な計画）と指導計画の関係性などについて、具体例を挙げながら授業を行うとともに、附属幼稚園実習の指導計画を作成できるよう指導を行う。 |
| 幼児教育学科 | 江端佳代 | 保育内容指導法(健康) | 専門 | 1回生 | 1 | 幼稚園教諭として幼児教育に携わった経験を活かし、実際に保育で活用できるような教材の作成や指導のあり方について演習を行う。 |
| 幼児教育学科 | 江端佳代 | 保育内容指導法(人間関係) | 専門 | 1回生 | 1 | 幼稚園教諭として幼児教育に携わった経験を活かし、乳幼児への関わりや援助のあり方について、具体的な事例を挙げながら講義を行う。また、「計画(P)・実践(C)・評価(C)・改善(A)」の過程や保育の構成について、模擬授業等を通して演習を行う。 |
| 幼児教育学科 | 近藤俊英 | 社会福祉 | 専門 | 1回生 | 2 | 高齢、障害、児童（スクールソーシャルワーカー）、専門職後見人など、福祉の各分野での実践経験を持つ教員が、福祉実践現場の実情を交えながら講義を行う。 |
| 幼児教育学科 | 橋本達昌 | 社会的養護 I | 専門 | 1回生 | 2 | 児童養護施設、児童家庭支援センター、子育て支援センター（地域子育て支援拠点）の統括所長として要保護児童等への支援業務に携わっている教員が、その経験を活かして社会的養護の現状や課題、最新の実践例や知見について解説する。 |
| 幼児教育学科 | 川端起代美 | 子どもの健康と安全 | 専門 | 1回生 | 1 | 助産師、妊産婦・新生児訪問指導員等、常に子育て中の保護者と関わる機会が多い経験を活かし、主に乳幼児の発達段階に応じた関わり方について教授し、実際に保育士としての乳幼児、保護者への対応、育児法や実践法について指導する。 |
| 幼児教育学科 | 木内貴子 | 子どもの食と栄養 I | 専門 | 1回生 | 1 | 保育園において栄養士経験がある教員が、現代の子どもの食を取り巻く環境をふまえ、適正な食習慣を支援するための食育について講義し、実践的な演習を行う。 |
| 幼児教育学科 | 山下清美 | 保育内容指導法(環境) | 専門 | 1回生 | 1 | 幼稚園教諭として幼児教育に携わった経験を活かして実際に模擬保育を行い、指導案を書いたり、環境を整えたり、ミニドキュメントを書いたりしながら、 子どもの学び を読み取る力を養うことに重点を置いた授業を行う。 |
| 幼児教育学科 | 山下清美 | 保育内容指導法(表現) | 専門 | 1回生 | 1 | 幼稚園教諭として幼児教育に携わった経験を活かして実際に模擬保育を行い、指導案を書いたり、環境を整えたり、ミニドキュメントを書いたりしながら、 子どもの学び を読み取る力を養うことに重点を置いた授業を行う。 |
| 幼児教育学科 | 小川智枝 | 子どもと人間関係 | 専門 | 1回生 | 1 | 保育士として保育に携わった経験を活かし、遊びのなかで育まれる子どもたちの人間関係と保育者の援助について、事例を挙げながら講義する。 |

実務経験のある教員による授業科目一覧：2021年度

※各授業のシラバスにも記載されています。

| 学科・専攻 | 担当教員名 | 授業科目名 | 科目区分 | 履修学年 | 単位数 | 授業内容（どのような経験を持ち、どのような授業を行うか） |
|--------|---------------------|-------------|------|-------|-----|--|
| 幼児教育学科 | 高間佳子 | 乳児保育Ⅰ | 専門 | 1回生 | 2 | 保育士として幼児教育に携わった経験を活かし、乳児保育に必要な専門的知識について実際の乳児の姿や関わり方など具体的な例を交えながら講義を行う。 |
| 幼児教育学科 | 高間佳子 | 乳児保育Ⅱ | 専門 | 1回生 | 1 | 保育士として幼児教育に携わった経験を活かし、指導計画等の作成や発達を押さえた関わり方などについて、助言を行いながら演習する。また、3歳未満児の発達の特性や環境をとおしての保育などについて乳児保育の経験に基づいて具体的に質問に答えたり助言を行ったりする。 |
| 幼児教育学科 | 玉節子 | 子育て支援 | 専門 | 2回生 | 1 | 保育士として、保育園や子育て支援センターに勤務し、子育て支援に携わった経験をいかし、実践例を挙げながら講義する。 |
| 幼児教育学科 | 木越直昭 | 社会的養護Ⅱ | 専門 | 2回生 | 1 | 乳児院・児童養護施設の職員・施設長としての実務経験を基にして解説する。 |
| 幼児教育学科 | 千崎愛 | 子ども家庭支援の心理学 | 専門 | 2回生 | 2 | 公認心理師・臨床心理士としての実務経験を活かし、子ども家庭を支援するために必要な知識や援助方法について講義を行う。 |
| 幼児教育学科 | 内田彰夫 | 障害児保育と特別支援Ⅱ | 専門 | 2回生 | 1 | 児童発達支援における実務経験(10年)を活かした解説・指導をしながら講義する。 |
| 幼児教育学科 | 松川恵子 | 教育実習Ⅰ | 専門 | 1-2回生 | 4 | 幼稚園教諭として幼児教育に携わった経験を活かし、教育実習の具体的な内容を指導するとともに、実習園と連携しながら一人一人の学生を支援する。 |
| 幼児教育学科 | 江端佳代、松川恵子、河合紀子 | 教育実習Ⅱ | 専門 | 1-2回生 | 1 | 幼稚園教諭として幼児教育を携わった経験を生かし、実習に向けての心構えや態度、指導案作成作成など事例を挙げながら講義及び演習を行う。 |
| 幼児教育学科 | 小川智枝、松川恵子、中尾繁史 | 保育実習Ⅰ | 専門 | 1-2回生 | 4 | 保育者としての実務経験を活かし、保育所実習の具体的な内容を指導するとともに、実習園と連携しながら一人一人の学生を支援する。 |
| 幼児教育学科 | 松川恵子、小川智枝、中尾繁史、山下清美 | 保育実習指導Ⅰ | 専門 | 1-2回生 | 2 | 保育者としての実務経験を活かし、保育所実習に必要な表現技術、実習の心構えやマナーなどについて、具体的な事例なども取り入れながら授業を行う。 |
| 合計単位数 | | | | | 36 | |